

## ＜意見の概要と審議会の考え方＞

募集期間：平成17年4月2日～20日 応募者数：14人66件（中間答申に関連のない意見3件は除きました）

応募方法：Eメール11名、FAX2名、郵送1名

項目	意見の概要	件数	審議会の考え方
全体	これだけは20年間変えない板橋区の行政だという重点を三つ程度、具体的な目標値とともに基本構想に織り込んでほしい	1	今後、審議会における審議の中で検討していきます
全体	厳選された先行投資整備が必要ではないか	1	
全体	板橋区はどういう特徴を持ち、その特徴をどのように伸長あるいは修正していくのが表現してもらいたい	1	これまでの審議においても、板橋区の特性を視野に入れた議論展開がなされました。基本計画・実施計画策定時に、さらに板橋区の特性に応じた施策が検討されるべきと考えます
全体	板橋区の強み・弱みは何か。限られた経営資源、特に財源を有効に活用するには、分析が不十分である	1	
全体	「ハコモノ」といわれない、揺るぎない基本構想を明確にしてほしい	1	中間答申では、施設整備事業を前提とはせず、生活者の視点に立った基本目標を掲げ、目標を達成するための施策の方向を示しています
全体	区の赤字財政を将来の子ども達に残すことは避けてほしい	1	これまでの審議においても、このことを念頭においた議論展開がなされ、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
全体	今後20年間の板橋区の財政はどのようになっていくか、最も重要なデータが今回の計画に記載されていない	1	長期的な財政状況を予測し、明示することは難しいと考えます。審議会としては実施計画の策定段階で、予測可能な範囲で財政規模を明示すべきと考えます
全体	現在の長期計画に対する評価が不十分であり、きちんと評価して次期の長期計画を立案・実行することが不可欠である	1	審議会でも、現計画の達成状況は審議をいたしました。そのうえで新基本計画策定時には、区民にわかりやすい成果指標が検討されるべきと考えます
全体	区民ワークショップ・区民提案の位置づけが曖昧であり、どのような位置づけで取り扱われ、具体的に何が取り入れられ、何が取り入れられなかったかなどを明確にしてほしい	3	区民提案の将来像・基本理念・基本目標・分野別提案を十分吟味し、その趣旨を反映しています。ワークショップの具体的提案項目については、基本計画の策定段階で検討すべきと考えます

項目	意見の概要	件数	審議会の考え方
将来像	区民主体のまちづくりの視点を、より一層明確にするために、「区民が」などの主語をつけてほしい	1	将来像は、区民全員の目標であるので、標語的に簡潔に表現しています
将来像	今回の三つの基本目標は板橋区の現状とその問題解決から発想されており、20年後の板橋区の社会像（将来像）が明確ではない	1	基本構想を検討するにあたっては、現状の課題を正しく認識した上で、望ましい将来の姿、実現に向けての基本目標を定めることが重要であると考えます。中間答申においても、現状と問題解決のみを検討しているのではなく、そのうえで、望ましい将来の姿について審議を行っており、ご意見の趣旨は、中間答申に反映していると考えます
基本目標	これからは男女が共生して生きていく世の中になると思います。もう少し「男女平等参画」を前面に打ち出すような基本目標の表題の作成も検討してもらいたい	1	「男女平等参画」は構想全体に通じる大切な基本理念であり、ご意見の趣旨は答申に反映していると考えますが、表現方法については引き続き審議します
基本目標	それぞれが文学的表現にあふれ、読む人によって受け取り方がまったく違うものになってしまう	1	基本構想がもつ性質上、計画とは違い個別具体的な表現ではなく、簡潔に全体を表現しています
- 1	「まず子どもを産め」と言っているともとられかねない順番での表記の仕方は、やめるべきである	1	基本目標 「のびやかに生きがいをもって暮らすまち」は子どもから高齢者まで、すべての区民の暮らしの目標として掲げており、わかりやすい形として、中間答申では子どもから高齢者の順で構成しています
- 2	正しい性教育について載せるべき	1	- 2 「次世代の生きる力をはぐくむまち」において、「正しい知識の習得や判断力」の中に含まれており、ご意見の趣旨は中間答申に反映されていると考えます
- 2	最初の項目に「自ら考え判断できる力とたくましく生きる力をもった創造性に富む子ども」を育成するとあるが、育成するのは区か、地域・家庭か。	1	「家庭・学校・地域」がそれぞれの役割を果たし、連携して「子どもを育成する」ことが重要と認識しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
- 4	生活空間の環境整備を目指した「住環境・生活環境向上の視点」が必要である	1	「住環境・生活環境」については、-3 「地域の個性を生かした美しいまち」において記述しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます

項目	意見の概要	件数	審議会の考え方
- 4	志村地域に顕著な工場跡地の急速な宅地化（マンション開発）や高島平地域に顕著な団地群で加速する少子・高齢化など、地域特有の課題にどのように取り組むべきか付け加える必要がある	1	地域特有の住宅・住環境の課題に対する具体的な取り組みについては、基本計画・実施計画の策定時に検討されるべきだと考えます
- 4	複雑化し情報化が進む現代住居では住機能が変わりつつあり、この点を記述に加える検討が必要である	1	今後、審議会における審議の中で検討していきます
- 5	病気や障害のために教育を十分に受けられない人たちに対して、勉学を続けられる支援の仕組みが必要である	1	具体的な福祉サービスの内容については、基本計画・実施計画の策定時に検討されるべきと考えます
- 5	障害のある人もない人も互いに理解を深めることが、認識のズレを小さくする。障害のある人にも情報と啓発が必要である。多様な人に対する「ノーマライゼーションの理念教育」が必要である	2	ノーマライゼーション（等しく生きる社会の実現）の理念の普及・啓発については、構想の基本理念であり、中間答申に反映していると考えますが、今後、審議会における審議の中で検討していきます
- 5	認知能力（理解力など）が低下している人へのサービスなどを充実してほしい	1	具体的な福祉サービスの内容については、基本計画・実施計画の策定時に検討されるべきと考えます
- 5	障害者という表現を肯定的なものに変えたいので、区民からアイデアを募集したらどうか	1	
- 5	自殺防止のための具体的な福祉サービスを切に望む	1	
- 5	障害者の自立についての表現など、とても勇気づけられる内容で、基本計画の完成とその実施に期待する	1	ご意見を尊重していきます
- 6	- 6 はむしろ - 1「安心して子どもを産み育てられるまち」の前にあるべきで、こちらを - 1にして順送りにしたほうがよい	2	基本目標 「のびやかに生きがいをもって暮らすまち」は子どもから高齢者まで、すべての区民の暮らしの目標として掲げており、わかりやすい形として、中間答申では子どもから高齢者の順で構成しています
- 1	町会・自治会の役員や民生委員などの在任期間を短くし、次の方を育成する工夫が必要である	1	審議会では、町会・自治会は自主・自立の団体であり、団体の自主性を尊重したいと考えています
- 1	区として町会・自治会の「標準会則」の制定などを通じ、地域の活性化などは図れないか	1	

項目	意見の概要	件数	審議会の考え方
- 1	「町会・自治会、NPOなど」の「など」の中にマンションなどの管理組合も含まれるのだろうが、固有の表現がされるべきである	1	審議会では、マンションの管理組合についてもまちづくり活動を行う多様な主体の一つとして認識していますが、管理組合の規模や活動に大きな差があるため、「など」で表現しました
- 3	「資源」というのは物的資源のみならず、人的資源(人材)を含むことを、表記に入れてほしい	1	審議会では、人的資源(人材)についても「地域資源」に含まれると認識しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
- 4	「地域文化」というのは土着の農民文化や、それに根ざした伝統芸能だけではなく、近年になって新しく芽生え育ってきた文化も含むことを、表記に入れてほしい	1	近年になって新しく芽生え育ってきた文化についても「地域文化」に含まれると認識しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
	基本目標に「安全で安心なうるおいのまち」を定め、まちづくりに「安心・安全」「防犯」の視点を取り入れたことは評価できる	1	ご意見を尊重していきます
	「うるおい」という表現が具体的に何を指すのかよく分からないので、区民が一読して共通のイメージを描けるような文言を用いてほしい	1	ここでの「うるおい」は、暮らしやすい都市環境の意味であり、緑や水といった自然環境も含まれます
- 1	区民提案で提言された、防犯についての定量的な評価と施策の改善が反映されることが望ましい	1	各施策に対する定量的な評価と施策の改善などの具体的な取り組みについては、基本計画・実施計画策定時に検討されるべきと考えます
- 2	防災について区民提案の内容が反映されておらず、ワークショップメンバーへのヒアリングを望む	1	4月9日に区民説明会を開催しました。審議会では区民提案をベースに専門的見地から審議しており、具体的な提案については、基本計画策定時に検討されるべきと考えます
- 4	バリアフリーについて、道路・交通網だけではなく建築物(特に公共建築物)、公園などの施設についても明記する必要がある	1	中間答申では、建物や公園など、まち全体のバリアフリー化について記述しています
- 4	バリアフリーについて、ハード整備のほかにサービスの質の向上(ソフト整備)を明記する必要がある	1	ノーマライゼーションの理念のもと、ハードとソフトの両面から整備を進めていく必要があり、表記については今後の審議会で検討していきます

項目	意見の概要	件数	審議会の考え方
- 4	バリアフリーについて、内閣府が規定する物理的・社会的・制度的・心理的なバリアのほかに「情報のバリア」「文化のバリア」などがあり、こういった先進的な考えを取り扱う必要がある	1	今後、審議会における審議の中で検討していきます
- 4	劣悪な道路条件の点検・解消の表現を望む	1	道路整備の具体的な内容などは、基本計画・実施計画の策定時に検討されるべきと考えます
構想実現	実施のための区の責任・実行などについて明確でない	1	「5 構想実現のために(2)新しい時代に対応した行政経営の確立」において、実施に向けた考え方を記述しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
構想実現	IT化の推進の前提として、徹底した区民の個人情報の保護がなされなければならない	1	区民の個人情報の保護については、今後、審議会における審議の中で検討していきます
構想実現	行政・財政改革について特記すべき	1	「5 構想実現のために(2)新しい時代に対応した行政経営の確立」において、新しい行政・財政のあり方について記述しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
構想実現	行政のすべての分野にわたって再検討を加え精査し、削減・廃止を行うとともに、残すところは残し、強化・増額などを行うべきである	1	行政における施策や事業の精査は、基本計画・実施計画策定時に検討されるべきと考えます
構想実現	財政措置について区民および関係者への理解を求め、国・都・関係機関などに対して強く要請することを願う	1	「5 構想実現のために(3)自治権の拡充」において、国・都・関係機関などとの協力・連携について記述しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
構想実現	「行政評価」がどのように構築されていくのか、実施計画を見守っていきたい	1	ご意見を尊重していきます
構想実現	基本構想・計画において、実効ある成果を求めるための外部監視委員会など、第三者機関のフォローアップ体制の構築を強く希望する	1	「5 構想実現のために(1)区民と行政との協働関係の形成」において、評価(区民参画)について記述しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます
構想実現	基本計画で各分野の数値目標が出るのが望ましく、基本構想でその旨宣言しておく必要がある	1	「5 構想実現のために(2)新しい時代に対応した行政経営の確立」において、目標と成果の指標について記述しており、ご意見の趣旨は中間答申に反映していると考えます

項目	意見の概要	件数	審議会の考え方
構想実現	基本計画において、数値目標が各分野に必要である	1	基本計画策定時には、成果指標を設け、達成度をわかりやすく明示することが検討されるべきと考えます
構想実現	行政手続の複雑さの原因は、行政の縦割り組織形態にある。横断的な連携の図れる行政組織をめざすべきである	1	基本計画・実施計画策定時において検討されるべきと考えます
構想実現	電子区役所の情報化進展に対応して、デジタルデバイド対策も積極的かつ具体的に推進してほしい	2	デジタルデバイド（情報格差）については、今後、審議会における審議の中で検討していきます
基本計画	基本構想を実現するために財政改革を推進し、区長・区議会・職員、そして区民が一丸となってまい進する必要がある	1	ご意見を尊重していきます
基本計画	基本計画にも、ぜひ板橋区が「平和」を望む区であることを盛り込んでほしい	1	今回の構想の根底であり、基本計画の策定においても継承し、反映されるべきと考えます
基本計画	基本構想の実効性を高めるため、基本計画および個別事業計画は区民の参加をもとに策定すべきである	2	基本計画・実施計画策定時には、区民提案を尊重するとともに、パブリックコメントをはじめとする区民参画の方法が検討されるべきと考えます
基本計画	区民提案において具体的に提案された、実施主体・時期・具体的内容などを基本計画策定時に反映させる必要がある	1	
表記	表記は原則漢字に、数字等も統一するとともに文言に主語を加えるなど、わかりやすくしてほしい	3	わかりづらい箇所については、今後、審議会における審議の中で検討していきます